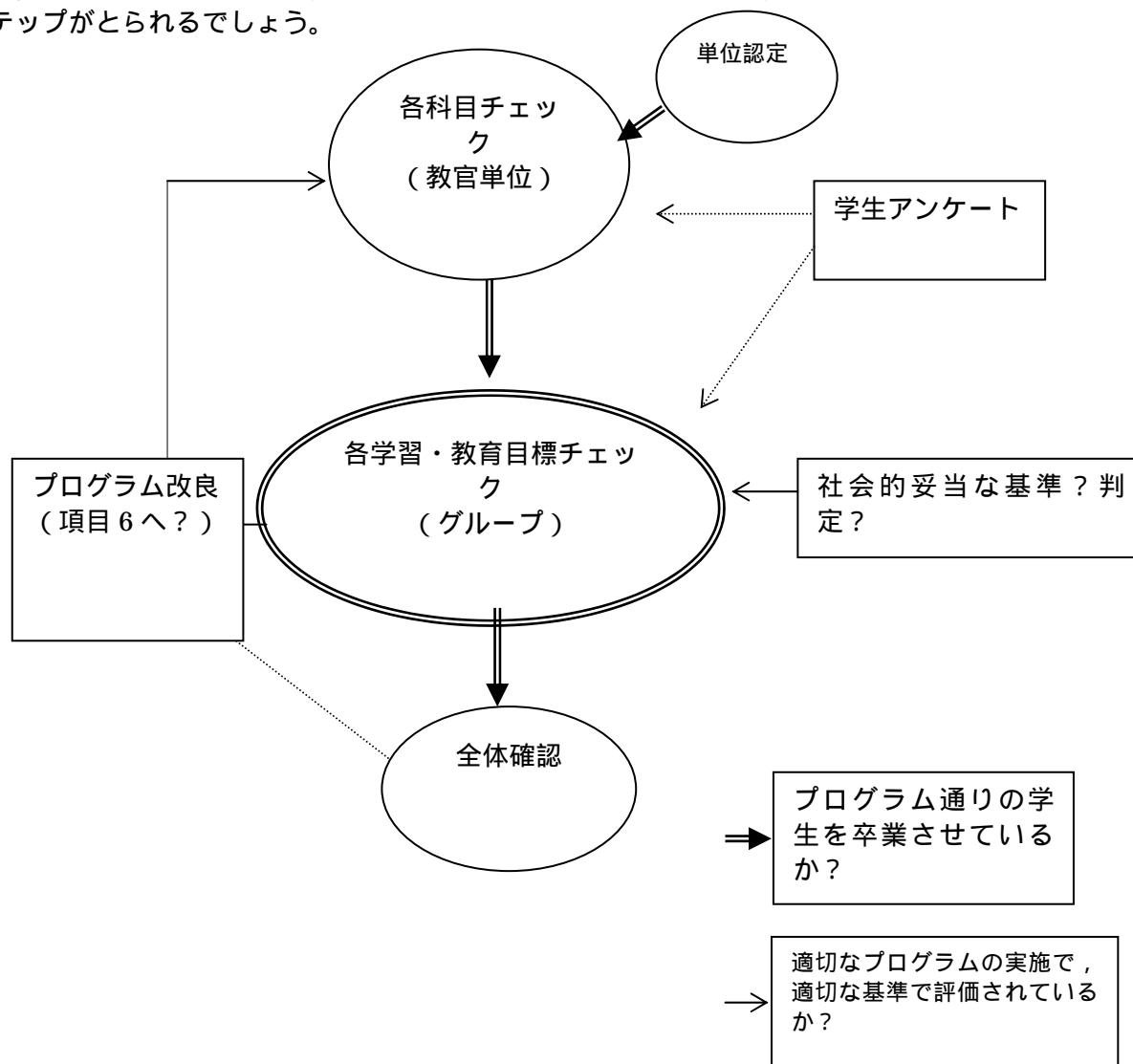


## 授業改善サイクルについて

このFDは、7/9学部長&教育制度改革委員長からの文書にあるFDテーマ「授業アンケートの授業へのフィードバック(工夫した点、反省点等)」に対応するものであり、かつJABEEが基本的に要求する「教育の点検と改善サイクルの確立」というテーマにも対応するものです。

JABEEでは、教育の質の確保・向上を目標にしていますが、そのためには継続的に成果を点検評価して次の改善に結びつける活動が大切です。すなわち、改善の前に点検評価が必要となります。点検評価は最終的には、学科の目標に照らして行われますが、「全体 グループ 個別」のステップがとられるでしょう。



改善サイクル図 (信岡による)

このFDの目的は、各科目の点検評価を担当者が行った結果を持ち寄り、学科としての成果を挙げているかどうかを確認し、次の改善に向けて方針を確定し、実施への合意を取り付けることにあります。

従って、具体的な仕事は、科目レベルでの点検を実施する。点検結果を持ち寄り、不十分な項目を明らかにして、さらにFDにより改善方向を確定し、次期の改善実施計画を策定し、学科全員で確認することになります。これが、毎学期毎にサイクリックに行われることになります。

**Q . なぜこの F D が開かれたのか？**

JABEE 2.6 基準6:教育改善 2.6.1 教育点検システムでは、「学習・教育目標達成度の評価結果を収集・検討し、教育内容、教育手段および教育環境等を点検する教育点検システムが在り、その仕組みが開示されているか。さらに、それに関する活動が実施されているか。」が問われています。

この F D は、上記に対応する公式な活動であり、記録を残し公開できるようにします。

**Q . それでは、授業担当は何をすればよいのですか？**

基準5に「学習・教育目標達成度の評価」がありますので、これに沿って点検評価を実施します。

(1) 個々の科目ごとに、シラバスに定められた評価方法と評価基準に従って、科目の目標に対する達成度が評価されているか。

これを示す根拠（シラバス、成績表、試験問題・答案、レポート、作品、卒業論文など）、とくに、合否のボーダーライン上にある資料が審査の対象になるので、これらの資料にはラベルを付けるなどして、審査チームが審査しやすいように工夫・整理しておくことが必要である。

また、多数回あるいは多種類の試験等の結果で合否を判定している場合には、「それらの試験等の結果をどのように考慮して評価するか」を明確にし、評価に使用した代表的なものについて、少なくとも合格最低クラスのもを全員分提示すること。また、合否の水準をいかにして決定しているかの情報も添付しておくことが望ましい。

具体的なチェック項目は、金教務委員から事前に配布された授業点検改善表に記入していくこととなりますが、再掲すると以下の通りです。

- 1) シラバスに目標、授業の狙い並びに成績評価方法が記載されているか？
- 2) 科目の目標に対する達成度が評価できる成績評価基準を作成しているか？
- 3) シラバスに定められた評価方法と評価基準に従って、達成度が評価されているか？
- 4) これを示す根拠（シラバス、成績表、試験問題・答案、レポート、作品、卒業論文など）資料を整理し保存してあるか？

この後に、コース全体の達成度評価になります。（JABEEWGで担当）

参考資料1 JABEE自己点検書

基準5：学習・教育目標達成度の評価&基準6：教育改善

参考資料2 JABEE自己点検書作成の手引き